

「大雪 ～助け合いの姿～」

◇2月になりました。「1月行く、2月逃げる、3月去る」の言葉通り、1月はあっという間にいってしまった感じがします。今年度も残すところあと2ヶ月。1日1日を大事に過ごしていきたいですね。



◇さて、先週は「10年に1度の寒波」が到来し、この辺でもたくさんの雪が積もったり凍ったりしました。22日の水曜日は朝から運動場は真っ白。通学路もたくさんの雪が積もっていたことと思います。登校時に、大きな雪玉やつららのかけらを持ってきて見せてくれる子がたくさんいました。みんなとってもうれしそうです。その日は2時間目に全校で外に出て雪遊び。雪玉を作ったり、ころころ転がして大きな雪だるまを作ったりと、めったにできない雪遊びを満喫しました。2年生は前日に、紙コップに花びらや木の実と水を入れて外に置き、凍らせる準備をしていたようで、うまく凍っていた子も多かったようです。

◇子供たちにとっては楽しい雪や氷も大人にとってはなかなか大変で、水曜日は仕事や生活に支障が出た方も多かったのではないのでしょうか。市内のあちこちで通行止めや大渋滞が起り、車が動かなくなったため、本校職員も歩いてきたり、3時間以上かかって到着したりとみんながそろりままでに時間がかかりました。学校近くの橋とフローレンスからあがる坂が凍っていてそこも大渋滞していました。地域の方や保護者の方が何人も、車を誘導したり、すべる車を押したり、凍った道路をスコップでかいたりしてくださって、何とか車が流れるようになりました。別の場所でもきつと同じようなことが起こっていたことと思います。下校時にも、通学路の雪かきを手伝ってくださった方、翌日にも凍っていた歩道の氷を、散歩途中にも関わらず「代わるよ」と削ってくださった方など、本当に多くの方に助けていただきました。大変な1日でしたが、いろんな方の親切が身に染みた日でもありました。子供たちもきつとそんな大人の姿を見てくれていると思います。また、自然災害への備えについても改めて考えさせられました。次にまた生かしていきたいと思います。



◇2月3日は「節分」、4日は「立春」です。節分に行く豆まきは、季節の変わり目に起こりがちな病気や災害を鬼に見立てそれを追い払う儀式が広まったものだそうで、豆まきで厄を祓い、新しい春の幸せを願う行事は今でも大切にされています。子供たちが植えたチューリップも芽を出しています。寒い中にも春の兆しを見つけながら、2月も元気に過ごしていきたいですね。残り2ヶ月、子供たちと一緒に今年度のまとめをしっかりとしていきます。インフルエンザが増えてきています。元気に2月を乗り切れるよう、体調に気を付けて過ごしていきたいでしょう。2月もよろしくお祈りします。



紅梅の紅をうるほす雪少し（松本たかし）

< 学校長 >